

ぽれぽれしター ぽれぽれしター

第42号
2020.01.01

ぼーれいぼーれ(Pole pole)
スワヒリ語で
「ゆっくり…」
という意味です

2020年ご挨拶



理念

「人とよりそう ひらかれた病院」

病院基本方針

※安心・安全ながん医療を提供します
※医療提携を進め、地域医療に貢献します
※豊かな人間性を持った医療人の育成に努めます

診療案内

内科 脳神経外科 整形外科
耳鼻咽喉科 婦人科 泌尿器科
放射線科 消化器内科
消化器外科 緩和ケア科
乳腺外科 腫瘍外科 腫瘍内科

【診療受付時間】

平日 8:30~16:00

土曜 8:30~12:00

【診療時間】

平日 9:00~16:00

土曜 9:00~12:00

【外来の休診日】

日曜・祝日・年末年始

【お見舞い時間】

12:00~20:00



令和2年1月、謹んで新年の御祝詞を申し上げます。

さて、糖尿病治療薬のメトホルミン（商品名メトグルコなど）に抗がん作用があることは、以前から知られていました。糖尿病患者の中でもメトホルミン服用者は他剤服用者より明らかにがんが少なかったのです。また、基礎・動物実験においても抗がん作用が示されてきましたが、作用機序は不明でした。昨秋、ある研究会で岡山大学・免疫学の鶴殿平一郎教授の講演を聞く機会があり、メトホルミンの抗がん作用の機序が解明されつつあることを知りました。詳しくは書けませんが、従来は代謝系の改善だけと考えられていたのが、がん増殖に働く制御性T細胞（免疫細胞の一種）の抑制効果もあることが鶴殿教授らによって発見されたのです（EBioMedicine2017）。直接質問したところ、メトホルミンだけの抗がん作用は強くないが、いくつかの治療法との組み合わせで効果が高まると考えられ、岡山大学では、免疫チェックポイント阻害剤との併用の治験が進行中とのことです。温熱療法との組み合わせも効果が上がると思われ、血糖が高めの患者さんに飲んでもらったことがあります。効果は明らかではありませんでした。メトホルミンは健常者が飲んでも血糖値は下がらないので副作用もありません。ちなみに、化学放射線療法でCRとなった小細胞肺がんのSさん（HbA1c \geq 8）の場合、温熱療法とメトホルミンで10年以上、再発がありません。



（病院長 中村仁信）

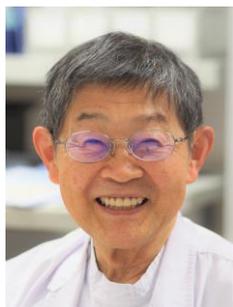
“メトホルミンががんに効く”は噂のレベルだったが、科学のレベルになってきたという人もいます。「メトホルミンの逆襲」に期待したいと思っています。

令和2年 明けましておめでとうございます。

地球温暖化の影響か、昨年も自然災害が多発し、また秋刀魚や、鮭、烏賊の不漁などに見舞われ、このままでは地球そのものが滅んでしまうのではと思わせる出来事が多発しました。

日本では少子高齢化が進み、経済も縮んで行きそうとの楽しくない予想をみせていますが、今年2020年は東京でオリンピック、パラリンピックが開催され、2025年には大阪で万博、2027年には東京、名古屋間でリニアモーターカーの開通など、未来に向けた楽しい行事もあり、悲観ではなく楽観で進行してほしいと思います。

本年も宜しくお願い申し上げます。



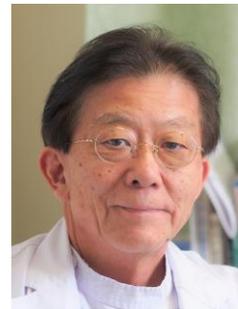
（顧問 宮田倅明）



2020年（令和2年）、新年明けましておめでとうございます。

旧年中、当院に賜りました数々のご厚情とご支援に、職員一同心より感謝申し上げます。

昨年は、御代替わりの心改まる年である一方、多くの風水害もあり、慌ただしい1年間でありました。今年は、少し落ち着いて、民間がん専門病院として、放射線療法、化学療法、緩和医療、リハビリテーションの提供に努め、北摂地域（北大阪地域）の「がん医療の地域完結性」に貢献していきたいと考えています。



（副院長 後明郁男）



（副院長 杉浦孝司）

明けましておめでとうございます。

旧年中、当院に賜りました数々のご厚情とご支援に対しまして、職員一同心より御礼申し上げます。

当院はがん専門病院としてがんの再発や転移で苦しむ患者さまに放射線治療と化学療法そして緩和ケアの提供を中心に診療しております。

本年度も近隣の諸病院と連携し質の高い医療を提供できるように職員一丸となって努力していく所存です。

今年も皆様にとって実り多い一年になることを願っております。



新年明けましておめでとうございます。

旧年中はひとかたならぬ御厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

当院では、がんの早期発見をめざす検診・人間ドックから根治的ながん治療、そして、緩和ケアまで、がんのさまざまな病期に対応し、診療しております。本年も、患者様ひとりひとりによりそい、安心して安全な医療をご提供すべく、日々、研鑽を積んで参る所存です。

今年も、かわらぬあたたかいご支援、ご指導のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



（医局長 高橋正嗣）

新年明けましておめでとうございます。

昨年4月に看護部長に就任しました内田宣江と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年は病院を評価する病院機能評価の更新年で、職員一丸となって病院の質改善を試みているところを評価していただきました。今年も安全で質の高い医療・看護を提供できるよう、より一層の努力をしてみたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。



（看護部長 内田宣江）

編集後記： 昨年は暖冬と言われていましたが、徐々に寒さが厳しくなっております。体調管理に気を配って、今年もよい年にしましょう。（村井）

発行者： 中村仁信（病院長） 〒567-0085 茨木市彩都あさぎ7丁目2番18号
編集長： 福西康修（放射） TEL072（641）6898 Fax072（641）6097
編集委員： 村井祐子（医師） 岩切昭夫（看護） 松澤圭介（看護） 常島啓司（情報）
大塚はるか（医事課） 中谷香澄（放射）

このニュースレターご希望の方は総合受付・地下受付にお越し下さい
<http://www.saito-yukoukai-hp.jp/index.htm>
「ほれほれ」はホームページからダウンロードできます！

